

1 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

春秋時代に生きた孔子は、周(西周)の社会を理想として、家族道徳を基礎とする思想を展開した。戦国時代に孟子・荀子によって発展したこの思想は、前漢の武帝時代に官学とされた。以来この思想、すなわち儒教は、原則として中国諸王朝の統治の基盤となった。

魏晉南北朝時代という分裂期には、あまり振るわなかった儒教であるが、全土統一が本格的に回復した唐で、ふたたび国家体制の根幹として重要性を持つようになった。とくに科擧で主要な地位を占めたため、儒教の主要な経典の注釈書である「五経正義」が、孔穎達らによって編纂された。しかし、このような注釈に終始する訓詁学は儒学の停滞をもたらしたため、宋の周敦頤はそれを批判して、哲学的思索を深めた。この新しい儒学は南宋の朱熹によって大成されたので、朱子学と呼ばれるようになった。一方、朱熹の説を批判した陸九淵の説は明代に陽明学として大成されることになった。明は朱子学に基づいた統治をおこなったが、理性を重視するこの朱子学に対し、主観を尊重する陽明学が、実践を伴う独特な活動を展開した。とくに明末には、李贄という特異な思想家が現れた。しかし、主観を過度に重んじた陽明学は、次第に批判を招くようになった。こうして明から清への移行期、実証的研究の徹底を説く新しい儒学が興った。それは黄宗羲、顧炎武らによって始められた考証学であり、清代にはもっぱらこの学問がおこなわれた。19世紀になると、ヨーロッパ勢力のアジア進出が本格化し、清はアヘン戦争・アロー戦争に敗れて開国を余儀なくされた。同世紀末には日清戦争で日本に敗北し、これをきっかけに列強の露骨な侵略を受けた。こうした状況を背景に、康有為らは、孔子の社会改革者としての側面を強調する公羊学の立場から、立憲君主政を打ち立てる試みを起こした。いわゆる変法自強であるが、西太后ら保守派にはばまれた。辛亥革命で清が滅び、中華民国となったのちに第一次世界大戦が起こった。この大戦のもと、中国知識人の間では民族意識が高まり、陳独秀が発行した雑誌「新青年」を中心に、社会変革を目指す新文化運動が起こった。そこではヨーロッパの先進文化を受容しながら、中国の伝統文化に対する批判が展開され、儒教精神も徹底的に攻撃された。以上の動きは、第一次世界大戦後の広範な民衆運動や中国統一運動につながった。第二次世界大戦後、中華人民共和国が成立したが、社会主義(共産主義)のこの国で、儒教はあまり重視されていない。

問1 下線部(1)の時代に直接関係のあるものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 1

① 「論語」 ② 焚書・坑儒 ③ 封建制度 ④ 仰韶文化

問8 下線部(8)の時期に見られた次の①～③の出来事が年代順に正しく並べられているものを、下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 8

- ① 望厦条約や黄埔条約が結ばれた。
- ② 清が英仏両国との間で北京条約を結んだ。
- ③ 清がイギリスに香港島を割譲した。
- ④ ①→②→③
- ④ ②→③→①
- ④ ③→①→②
- ④ ①→③→②

問9 下線部(9)に関連して述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 9

- ① 北京大学の学生や労働者らが三・一運動を展開した。
- ② 孫文の中国国民党が共産党との提携に踏み切った。
- ③ 軍閥打倒を目指す北伐が西安から開始された。
- ④ 蒋介石が張作霖を爆殺して中国統一を達成した。

問10 下線部(10)において、プロレタリア文化大革命で失脚したが、1970年代に復活して最高実力者となり、「四つの現代化」政策を推進するなどして、改革・開放路線をいたした人物は誰ですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 10

- ① 周恩来 ② 張学良 ③ 鄧小平 ④ 毛沢東

問2 下線部(2)の時代について述べた文として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 2

- ① 覇者と呼ばれる有力諸侯が出現した。
- ② 法家の思想家による改革で秦が国力を増大させた。
- ③ 鉄製農具による農業がおこなわれた。
- ④ 刀銭・布銭などの青銅貨幣が流通した。

問3 下線部(3)に関連して、前漢と後漢について述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 3

- ① 前漢では九品中正がおこなわれた。
- ② 前漢の都は建康におかれた。
- ③ 後漢の張騫は西域都護として活躍した。
- ④ 後漢では鄭玄が訓詁学を大成させた。

問4 下線部(4)の時代に活躍した人物として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 4

- ① 仏図澄 ② 法顯 ③ 王羲之 ④ 杜甫

問5 下線部(5)の時代に起こった農民反乱はどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 5

- ① 太平天国の乱 ② 黄巢の乱 ③ 李自成の乱 ④ 紅巾の乱

問6 下線部(6)に関連して、北宋、南宋および北方民族について述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 6

- ① 北宋では司馬光によって新法がおこなわれた。
- ② 南宋では臨安や泉州などの海港都市が栄えた。
- ③ 契丹(遼)は淮河以北の地を統治した。
- ④ 女真人の金は靖難の役で北宋を滅ぼした。

問7 下線部(7)に関連して、明・清時代に直接関係のないものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 7

- ① 色目人 ② 一条鞭法 ③ 理藩院 ④ 北虜南倭

2 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

7世紀の初頭にアラビア半島西岸地域でムハンマドがイスラム教を開くと、その勢力は急速に拡大した。8世紀半ばにアッバース朝が成立するとまもなく、イスラム勢力は中央アジアで唐と衝突して勝利し、それを機に画期的な技術が唐から伝わった。イスラム教徒はやがて地中海の交易の主導権を握ることになった。アッバース朝のカリフの権威は10世紀以降、大きく損なわれ、各地に自立王朝が並立したが、その一方でイスラム教はアフリカ、インド、東南アジアへ浸透していった。またイスラム世界では、世界の先進文化を吸収して融合・発展させ、高度な文化が栄えた。さらにその文化に各地の文化的要素が加わり、それぞれに特色のあるイスラム文化が生まれることとなった。19世紀になると、アジアのイスラム諸国はヨーロッパの圧迫を受けて苦しんだ。とくにこの時代には、ロシアがユーラシア大陸全域にわたって南下政策をとり、これに対しインドを最重要植民地としていたイギリスが決定的に対立するという構図が見られた。このようなヨーロッパ文明の進出に対するイスラム文明側の反発は強く、21世紀初頭にアメリカで起こった同時多発テロも、イスラム急進派に継承されたこの反発の一端とも捉えられるかもしれない。

問1 下線部(1)について述べた文として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 11

- ① 唯一神であるアッラー以外のものへの信仰は禁じられている。
- ② メッカにあるカーバ神殿は、イスラム教信仰の中心である。
- ③ ムスリムは神の前ではみな平等であり、聖職者が存在しない。
- ④ 聖典である「コーラン」は、ムハンマドの生涯の記録である。

問2 下線部(2)に関連して、ウマイヤ朝時代にイスラム勢力が新たに征服した地として正しいものはどれですか。以下の①～④の中から1つを選び、解答欄の記号をマークしなさい。 12

- ① アラビア半島 ② イベリア半島 ③ イタリヤ半島 ④ バルカン半島

問3 下線部(3)で述べられている画期的な技術とはどれですか。以下の①～④の中から1つを選び、解答欄の記号をマークしなさい。 13

- ① 活版印刷術 ② 火薬製造法 ③ 製陶術 ④ 製紙法

問4 下線部④に関連して、イスラーム諸王朝について述べた文として正しいものはどれですか。

以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 14

- ① ファーティマ朝の創始者は、自身をカリフと称した。
- ② ムラービト朝は、アッバース朝の首都であるバグダードに入城した。
- ③ マムルーク朝は、インドへの侵入を繰り返した。
- ④ セルジューク朝は、アフリカ内陸部で最初のイスラーム王朝であった。

問5 下線部⑤に関連して、今日のアフリカ、南アジア、東南アジアの国々のうち、国民の大半がイスラーム教徒である国として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 15

- ① エジプト
- ② パキスタン
- ③ インド
- ④ インドネシア

問6 下線部⑥に関連して述べた文として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 16

- ① カイロにはアズハル学院が設立された。
- ② イブン＝ハルドゥーンが「世界史序説」を著した。
- ③ インドから伝わった十進法をさらに発展させた。
- ④ ウマル＝ハイヤームが「三大陸周遊記」を口述した。

問7 下線部⑦に関連して、各地に建設されたイスラーム建築の例として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 17

- ① タージ＝マハル
- ② アンコール＝ワット
- ③ スレイマン＝モスク
- ④ アルハンブラ宮殿

問8 下線部⑧に関連して、19世紀のオスマン帝国とカージャール朝について述べた文として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 18

- ① オスマン帝国では、タンジマートと呼ばれる近代化改革がおこなわれた。
- ② オスマン帝国では憲法が制定された。
- ③ カージャール朝ではシバーヒーの反乱が起こった。
- ④ カージャール朝はロシアとトルコマンチャーイ条約を結んだ。

3 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

古代ギリシアのポリスにおいてもローマにおいても、国家が繁栄へ向かうときに決定的な役割を果たしたのは、重装歩兵として活躍した中小農民であった。彼らの活躍があったからこそ、アテネらギリシアのポリスはペルシア戦争に勝利することができ、ローマはイタリア半島を制圧し、カルタゴを滅ぼすことができた。しかしいづれの場合も、やがて重装歩兵制は崩壊して、社会は著しく変化し、中小農民が国家の政策決定に重要な役割を果たすことはなくなった。ローマの場合、紀元前2世紀ごろ以降は富裕者の大土地経営が一般化した。この大土地経営は、帝政期後半には大きく変質することになる。それまでの奴隷労働に立脚した経営に代わり、小作人に耕作させる経営が一般的となった。4世紀のコンスタンティヌス帝は強力な統治体制をしき、人々の職業を固定化し、小作人の移動を禁じたが、この小作人が中世の農奴の先駆であるとされる。ゲルマン人の大移動が起こり、その中からフランク王国により西ヨーロッパ世界が形成され、やがて封建社会が確立されたが、その中で農奴は封建領主に対する様々な負担を負った。同時に農奴は、教会に対する十分の一税も負った。これは、ヨーロッパの広範な地域にわたって教区が整備され、司祭、司教、大司教、ローマ教皇という階層秩序が整えられたことを示している。一方農村では、三圃制の普及や技術の改良によって農業生産力が向上し、余剰食糧も生み出されるようになった。これらを前提に十字軍が開始され、商業の復活と都市の発達が見られ、封建社会が変質していった。その中で封建貴族は没落していき、各国では国王の権力が強化されていった。同時に農民の地位も向上していくことになったのである。

問1 下線部①に関連して、アテネとスパルタについて述べた文として正しいものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 21

- ① アテネではクレイステネスが財産政治を開始した。
- ② スパルタは、隷属民であるバルバロイに農業をおこなわせた。
- ③ アテネではペリクレスの指導のもとで、男女平等の民主政が完成した。
- ④ アテネとスパルタは、前5世紀後半にペロポネソス戦争をおこなった。

問2 下線部②の中で起こったサラミスの海戦を指導したアテネの政治家は誰ですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 22

- ① ペイシストラトス
- ② テミстокレス
- ③ デモクリトス
- ④ アイスキュロス

問9 下線部⑨に関連して、ロシアが南下政策を進める過程で締結した条約として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 19

- ① カルロヴィッツ条約
- ② イリ条約
- ③ 北京条約
- ④ アイグン条約

問10 下線部⑩が起こったときのアメリカ大統領は誰ですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 20

- ① ケネディ
- ② ニクソン
- ③ ブッシュ(子)
- ④ カーター

問3 下線部③の時代に、ローマ帝国との季節風貿易で栄えた、インドのデカン高原を中心とした王朝はどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 23

- ① ヴァルダナ朝
- ② チョーラ朝
- ③ サータヴァーハナ朝
- ④ マウリヤ朝

問4 下線部④に関連して、この新たな土地経営で使用された小作人の名称として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 24

- ① コロヌス
- ② パトリキ
- ③ コンスル
- ④ プレブス

問5 下線部⑤に関連して述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 25

- ① 西ゴート王国はアフリカの北岸に建国した。
- ② フランク王国はアリス派のキリスト教に改宗した。
- ③ フランク王国はイスラーム教徒の侵入を撃退した。
- ④ フランク王国のカル大帝はビザンツ皇帝から戴冠された。

問6 下線部⑥に関連して、歴代のローマ教皇について述べた文として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 26

- ① グレゴリウス7世は神聖ローマ皇帝を破門した。
- ② ウルバヌス2世は十字軍の派遣を提唱した。
- ③ インノケンティウス3世は教皇権の絶頂期を実現した。
- ④ ボニファティウス8世はイギリス王によりとらえられた。

問7 下線部⑦のうち、コンスタンティノープルを攻略した第4回十字軍を主導した都市はどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 27

- ① フィレンツェ
- ② ヴェネツィア
- ③ ジェノヴァ
- ④ ミラノ

問8 下線部⑧の過程の中で、15世紀に現れた君主として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 28

- ① スペイン女王イサベル
- ② イギリス王エドワード3世
- ③ ポルトガル王ジョアン2世
- ④ フランス王シャルル7世

問9 下線部(9)に関連して述べた文として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 29

- ① 貨幣経済の浸透に伴い、貨幣を蓄積して力をつける農民が現れた。
- ② 14世紀のペスト(黒死病)の流行の際、領主は農民の待遇を改善した。
- ③ イギリスではヨーマンと呼ばれる独立自営農民が現れた。
- ④ フランスではワット＝タイラーが農民一揆を起こした。

問10 古代・中世の文化に関して述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 30

- ① ビタゴラスは地球を球体と考え、その周囲の長さを算定した。
- ② キケロはギリシア・ローマの英雄の人物を比較する『対比列伝』を著した。
- ③ トマス＝アキナスは『神学大全』を著してスコラ学を大成させた。
- ④ ビザンツ帝国ではゴシック様式のハギア＝ソフィア聖堂が建設された。

4 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

ナポレオンの没落後に築かれたウィーン体制は、フランス革命以前の秩序を正統なものとみなし、それを脅かすような自由主義運動を抑えようとした。しかし自由主義の風潮は拡大し続け、同時にナショナリズム(国民主義、民族主義)も高揚した。この2つの潮流は1848年のフランス二月革命と、その後ヨーロッパ全域に及んだ民族運動となって噴出した。この動きを「諸国民の春」という。これは当時ヨーロッパで流行したロマン主義の風潮とも結びついたものだった。これらの運動の多くは挫折したが、ナショナリズムの流れはイタリアとドイツの統一という形で結実した。こうしてヨーロッパ諸国は、単なる「主権国家」ではなく、「国民国家」としての体裁を整えたが、ナショナリズムが帝国主義と結びついたとき、世界分割競争となり、第一次世界大戦へ連なっていった。この大戦ののち、ヴェルサイユ体制とワシントン体制が構築され、さらに不戦条約も成立して、戦争の防止がはかられたが、1929年にアメリカ合衆国で起こった大恐慌が世界恐慌へ発展するにおよんで、日本、ドイツ、イタリアの全体主義体制諸国による領土拡張政策は第二次世界大戦につながった。戦後はアメリカ合衆国とソ連を核とする2つの陣営の対立構造、すなわち冷戦が深刻となったが、1985年に登場したソ連のゴルバチョフ政権の新思考外交による転換を経て、終結へ向かった。

問1 下線部(1)に関連して、ウィーン体制によって弾圧された運動や組織として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

- 31
- ① プルシェンシャフト
 - ② バリ＝コムニオン
 - ③ デカブリストの乱
 - ④ カルボナリ

問2 下線部(2)について述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 32

- ① フランスの二月革命で国王シャルル10世が失脚した。
- ② フランクフルト国民議会がドイツの統一を試みた。
- ③ ウィーンで三月革命が起こり、タレーランが失脚した。
- ④ ベーメンではマジャール人の民族運動が起こった。

問3 下線部(3)の作家、詩人、画家として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 33

- ① ドラクロー
- ② バイロン
- ③ ハイネ
- ④ ソラ

問4 下線部(4)の時代の19世紀末から20世紀初頭にかけて、欧米諸国で起こった出来事として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 34

- ① フランス——ドレフェス事件
- ② イギリス——社会民主党の結成
- ③ ロシア——血の日曜日事件
- ④ アメリカ——米西戦争

問5 下線部(5)に関連して、ヨーロッパ諸国とその植民地との組み合わせとして正しいものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 35

- ① ドイツ——カロリン諸島
- ② イタリア——ローデシア
- ③ イギリス——エチオピア
- ④ フランス——オーストラリア

問6 下線部(6)について述べた文として誤っているものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 36

- ① サライエヴォ事件を機に始まった。
- ② 参戦国の多くは総力戦を余儀なくされた。
- ③ アメリカ合衆国がドイツを支援して参戦した。
- ④ キール軍港の水兵反乱ののちドイツが降伏した。

問7 下線部(7)に関連して述べた文として正しいものを、以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 37

- ① 連合国とオーストリアの間でセーヴル条約が結ばれた。
- ② ヴェルサイユ条約により国際連合が設立された。
- ③ アメリカのウィルソン大統領の提唱でワシントン会議が開催された。
- ④ ワシントン会議における四か国条約は日英同盟の解消につながった。

問8 下線部(8)の事態への対応で、諸国がおこなったことについて述べた文として誤っているものはどれですか。以下の①～④の中から1つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 38

- ① アメリカはラテンアメリカに対する善隣外交をおこなった。
- ② イギリスはベトナムなどの植民地とともにブロック経済政策をとった。
- ③ 日本は清朝最後の皇帝だった溥儀を執政とする満州国を樹立させた。
- ④ ドイツは非武装地帯であったラインラントへ進駐した。